

発行人 / 学園町自治会会長・人見良一
投稿・連絡先 / 学園町2丁目8番地14号
電話・FAX/421-2336
企画編集 / 学園町自治会広報委員会
編集長 / 浜名 純

学園町 かわら版

購読無料・各戸配布 / 隔月刊行

106
号

毎月の第1・第3・第5月曜日は
学園町自治会の資源物回収の日。
自治会の収益となりますので、
ぜひご協力ください。

世界の教育の希望となる学校を目指して

更科幸一「自由学園」新学園長に聞く

4月から自由学園の新学園長に更科幸一先生が就任しました。折しも自由学園では、男女共学化がスタートしたばかり。生成AIやチャットGPTの普及に象徴されるインターネット社会の急速な発展により、教育を巡る環境も大きく変貌を遂げようとしています。節目の時代の中で、どのような学園を目指していくのか、インタビューしました。

——まず、生まれや経歴についてお教えてください。

更科 東京板橋区の銭湯の家に1971年に生まれました。姉に続き私も自由学園で学び、1994年に最高学部を卒業しました。その後、東京理科大学に進み、卒業後、帝京高校で6年間数学の教師を務め、母校の自由学園の教師になりました。最初は、男子部中等科3年の担任でした。その後、男子部部長、女子部部長、副学園長を歴任しました。

——男子部、女子部の部長に就任して取り組んだことがありますか。

更科 12歳から18歳の生徒が学んでおり、寮では一緒に生活しているわけですが、そこではいい意味でも悪い意味でも、先輩後輩の上下関係が出てきてしまします。つまり、中一は高三の言うことに従わざるを得なかったり、言いたいことを主張できないといったことがありました。女子と男子ではその表現の仕方が違いますが……。自由学園が大切になっている愛や自由そして平和とは異なるのではないかという思いです。そんな状態を変えようといういろいろと試行錯誤しましたが、3年くらいしてようやく先生や生徒の意識が変わってきたと感じました。

2015年に男子部の部長に就任した時、こんな話をしました。

『New Story』(ニューストーリー)と聞いて何を思い浮かべますか？それは、「愛」「自由」「平和」です。ちよつと古くさく聞こえるかもしれませんが、でも、「愛」に溢れ「自由」の意味を生徒がよく考えて生き、「平和」な

関係性を築いていく学校、私はそんな学校を本気で創ってきたいと考えております。それは、『Old Story』(オールドストーリー)、すなわち、お金、地位、学歴、権力、名誉ではありません、という内容でした。

——心や体のケアをするタッピングタッチも導入しましたね。

更科 生徒たちを勇気づけたり、ケアしたりするときに何をしたらいいかを自分なりに学んでいるうちにタッピングタッチに行きつきました。言語によるケアも大切ですが、非言語によるケアもとても大切です。実家の風呂屋から生まれた発想でしょうか(笑)。タッピングタッチをやると本当に眠りについてしまう生徒がいます。

(注：タッピングタッチとは、軽く相手の背中などにタッチするケアの方法。不安、緊張、痛み、ストレス反応などをやわらげ、よりよいコミュニケーションと関係性の改善にもつながる)

——学園町が誕生してから来年は100年になります。自由学園が目白から「完全移転」したのが1934(昭和9)年です。町と学園の関りについてどんな考えをお持ちでしょうか。

更科 私は、自由学園を日本と、そして世界の教育の希望であると言われる学校にしたいと思っています。それを実現するためには、地域の人々と協働していくことが必須です。自由学園の存在をしつかりと認めていただいて手をつなぎ合ってやっていくことが大切です。学園町に住んでいても自由学園のことを知らない人たちが多いと思います。今、少しずつつながりができて

きたと感じていますが、もっと積極的に進めたいと思います。

例えば、高齢の住民が増えています、その人たちに自由学園の食材を適正な価格で配布するとか、自分で料理することが困難になった人には、自由学園の弁当をお届けする。また、小さいお子さんの遊ぶ場所が少ないという声を耳にしますが、「自由学園フリーパス」を発行し、学園のキャンパスで遊べるようにするといったことも考えられます。もちろん保護者から会費をいただいて健全な運営ができるようにします。地域の方が何を欲しているかを把握し、そこからスタートしたいと思っています。この町には良い風が流れている、と感じられるまちづくりに、自由学園として貢献できればいいですね。

——生徒や児童には、人間としてどのように成長してほしいと思っていますか。

更科 さまざまなことを体験することが重要です。体験すると体感します。体感すると体得できる。体得できれば体現し実践できるようになるのです。そんなプロセスを意識した学びを実践したいと思います。

さらに相互扶助、すなわち人間はお互いに支え合っているということを認識してほしいと考えています。ちよつと微妙で誤解を招きそうな表現ですが、「自分の頭だけ」で考えるのではなく、「自分たちの頭」で考えることが重要です。自分の頭だけで考えていると他を寄せつけない個の世界に没入してしまいます。相互扶助の精神から離れてし

(次ページに続く)

まいます。「自分たちの頭で考えられる人たち」に、こだわりたいですね。協力、協働することで皆が健全に生きられるのではないのでしょうか。

——**新年度から男女共学化が始まりました。これまで女子部、男子部に分かれていた中等科・高等科を中等部、高等部と名称変更しましたが、共学についてお聞かせください。**

更科 創立者は既に1930年代に国際共学というものを目指していました。「共に生き、共に学び、共によりよい社会を創り出す学校」ということで、共生共学を標榜しました。しかし、当時は時期尚早と言われてきました。それが100年を経て実現したわけです。性別・年齢・国籍・能力なども含めて多様な人々が共生する社会を作っていきたいと思っています。そうした中の一つとして「共学」がある、というわけです。今まで男子部、女子部で育ってきた生徒のほうで、最初から共学で学ぶ新入生に比べ戸惑うことが多いかもしれないと思いますが、第一歩がスタートしたばかりです。

今、地球社会は差別や分断が強まり、社会的に弱い立場の人はさらに虐げられるようになってきました。孤立化や個別化が進んでいますが、相互扶助の精神で、皆が助け合っていける社会の実現のために尽力していきます。

学校創立60周年に向けて 第五小学校長 古矢美雪

寒暖差の激しい冬が終わり、うららかな陽光がきらめく春がやってきました。正門付近に林立する、五小のシンボルである「けやきの木」も、若葉が少しずつ顔を出し、まもなく逞しく生い茂る日も近いことでしょう。

「けやきの木」といえば、本校の校歌に登場する木です。♪まっすぐにのびて けやきのこずえは 宇宙をゆびさす ふしぎなことがいっぱい さわつてみたいあの青空♪（校歌の一番より）

けやきの木がなぜ本校の校歌に登場することになったかについては、詩人・翻訳家等でご活躍中の谷川俊太郎さんが、大きくかわつてくださっています。谷川さんは、昭和33年に以下の詩を書かれました。

はらつぽのまんなか
たつていっているいっぽんのけやき
つべんにままでのぼれば
にじのねもとがみえるかな
はらつぽのまんなか
たつていっているいっぽんのけやき
かぜがふくとはなしする
かいぞくせんのはなしか
はらつぽのまんなか
たつていっているいっぽんのけやき
もしかするとねもとに

ひみつのたからがうまつてる
はらつぽのまんなか
たつていっているいっぽんのけやき
よるになるとまるで
かみさまみたいにこわいんだ

この詩をもとに、本校第一代の成見歳雄校長先生が「けやきの木」を本校のシンボルにしたい、と谷川俊太郎さんにご相談をして、本

地域や学校外の方との連携を目指して

南中学校長 若澤直樹

南中学校では地域や学校外の人や事業所等との連携や協力を得ることに、どのように教育活動を充実させていけるかを、令和5・6年度の2年間をかけ試行錯誤しながら研究を進めています。

昨年度は、青少年健全育成協議会の地域の小中学生対象の行事、「お芋掘り体験」「みなみちゃん祭り」「お餅つきと昔遊び」で、多くの生徒がスタッフとして活躍しました。小学生や地域の方との交流の中で、生徒は成長につながる大切な成果を得ることができました。

校内の活動では、プラスチックの性質について、企業の協力で授業を進めたり、地域の助産師会か

校の校歌ができ上がったようです。

その日から数えて今年の10月で、学校創立60周年を迎えます。今年度は、60周年記念の集会も企画しています。その集会で、もしかしたら、谷川俊太郎さんが登場するかもしれません?! 子供たちも、今年度に向けて、マスコトキャラクター（けやすけ）を作成し、学校への愛校心を育んでいきます。

今後機会があれば、60周年行事へ向けてのホッと新たなニュースを皆様にお届けいたします。

「命の授業」に講師を派遣していただきました。防災訓練には地域消防団や消防署の方、防犯訓練には田無警察署の方に協力していただき、より充実した活動ができました。2年生で実施した災害時の避難所開設のための授業では地域の方にも参加していただくことができました。

3年生の修学旅行では京都・奈良の歴史と伝統文化を学ぶだけでなく、京都や奈良の観光都市としてのまちづくりの取組を見て、私たちの東久留米市をどう発展させていくべきかを考え、それをグループごとにプレゼンしてみるという取組を行いました。発表会に

は地域自治会の方や東久留米市長にも来ていただき、自分たちの声が社会にも届くという自信を持てることができました。

また、コロナ禍で数年間途絶えていた、アメリカのノースカロライナ州、イーストチャペルヒル高校との交流行事を全校で実施、学年、学級ごとにバーチャルでは感じられない他国の文化との交流を行うこともできました。

先日行った文化発表会では生徒の発表展示と併せて、地域の有志の方や地域の福祉施設からも作品出品のご協力をいただき、文化活動が学校だけでなく地域社会の様々な場面で行われていることを生徒に示すことができたと思います。

部活動でも、市出身の芸術家の方との美術部の交流や、科学部での企業の方による水素エネルギーの実験講座など、学校外の方からの協力で、教員だけではできない活動を行うことができました。

これらの取組全てに多くの方のご協力がありました。おかげさまで生徒達の中に自己肯定感や地域社会の一員としての自覚を育てる事ができました。

子どもたちの学びの広がりにはこれからの社会で生きていく生徒には絶対に必要なものです。地域の方や学校外の方と活動することで、子どもたちは地域社会を肌で感じます。今後も皆様のお力添えをお願いいたします。

緑ヶ丘で再会！
うれしかった！

金子 路子



も9人とその保護者や兄弟姉妹、そしてお世話になった担任の先生など25名ほどが懐かしい教室で再会しました。かつての園児たちも今は小学校3年生。旧園舎はともきれいに片付いていましたが、在園当時の雰囲気そのまま残っており、子ども達が使っていた椅子と机を並べて楽しいひとときを過ごしました。園庭も遊具以外は遊ぶことが可能と言っていたいただき、子ども達は大なわをしたり、鬼ごっこをして元気に走り回っていました。

2022年に閉園した緑ヶ丘幼稚園。その後、自由学園が所有することになり、建物が壊されることなく維持されていることに安どする気持ちもありましたが、卒園児やその保護者から「でも、閉園になってしまったのだから、もう園内には入ることはできないんだよね」とか「その後どうなったか方ないね」と言った声も多く寄せられていました。

ところが、学園町自治会を通じて、同窓会で利用できるということを知り、自由学園の担当の方とやり取りを重ね、3月2日に利用させていただきました。

2021年3月に卒園した子ども

参加した子ども達や保護者の方々は再び園の敷地内に入ることができたことを大変喜んでいました。「二度と入れるとは思わなかったけど、入って感動した」「きれいになって教室が広く感じた」などと話していました。

今回、自由学園側のご厚意でこのように利用させていただくことができ、感謝しております。

まだ現時点では細かな利用方法が決まっていらないようですが、今回のような目的や地域の集まりなどで利用することができたら、自由学園に直接は関りがなく、自由学園のことをよく知らない方々も、自由学園をより身近に感じられるのではないかと感じました。

「自由学園お散歩会」 春の日浴びて キャンパス散策

3月下旬の低温で桜の開花が遅れていましたが、ようやくくつぼみが開いた3月30日(土)、自由学園お散歩会が開かれました。学園町が「住まいのまちなみコンクール」で優秀賞を受賞したのを

記念して、学園町自治会が主催。参加した人たちは、春の日差しがあふれる自由学園のキャンパスを散策し、歴史的建造物や武蔵野の自然を堪能しました。

お散歩会には、お年寄のグループから最近学園町に引っ越してきた子育て世代まで59組148名が参加。自治会の会員以外の学園町の住民の方々も多く参加し、学園町以外の方も足を運んでくれました。学園町は、自由学園の創立者・羽仁もと子、吉一によって



1925年に開発・販売された住宅地がその始まりですが、昨今、自由学園のキャンパスを訪れたことがないという住民の方が意外と多いのが実情です。

そこで、住民の方々に身近に知ってもらおうと企画しました。約4000本の樹木と種類豊富な植生に恵まれた10万㎡のキャンパスには、東京都歴史的建造物をはじめ、フランク・ロイド・ライトの愛弟子遠藤新が設計に携わった趣のある校舎が点在しています。開花したばかりの桜や樹木ばかりに目が行きがちですが、当日は力タクリやニリンソウ、ヤマブキなどの可愛い花も沢山咲いていて、参加者の目を楽しませてくれました。

今回初めてキャンパスに入ったという人は「こんなに身近に武蔵野の緑が残った場所が残っているのでびっくりしました。また、平屋建ての校舎などを見て、その歴史を感じさせられました」と話し、自由学園と学園町の歴史に思いを寄せているようでした。

今回は4月からの共学に併せて一部立ち入り禁止の箇所もあり、また建物の中に入ることができず、「次回はぜひ建物の中に入りたい」という声もありました。また、このほかにも立ち会った自治会役員に次回のお散歩会に対してさまざまな希望が寄せられたのをはじめ、多くの参加者から、自治会活

動そのものに関して幅広い要望がありました。

自治会では、次回はさらに踏み込んだ企画を計画したいと話しています。どうかご期待ください。

語ろう！東久留米

東久留米市中央図書館主催の第9回「語ろう！東久留米」が3月10日、同図書館で開かれ、「学園町〜東久留米まちの歴史〜」と題して荻野晶子学園町自治会副会長と玄田悠大氏（東京大学博士後期課程、DOCOMOMO Japan 理事）が講演しました。

「語ろう！東久留米」は、近現代の東久留米の歴史・文化・伝統などについて、市民に語ってもらおうというもので、オーラルヒストリー事業として、その講演を活字化してまちの歴史として記録・保存する事業です。

この日は、約40名の市民が出席。玄田さんが、自由学園と学園町のかかわりについてや、その変遷の様子、さらに田園都市構想について講演。荻野副会長は、学園町の現状や課題、それにどう対処していくのかといった対策について話しました。

また、2月16日には、西武鉄道沿線価値創造本部、建築家藤村龍至さん、学園町自治会、まちにわひばりが丘、自由学園、西東京市、東久留米市らの関係者が学園町や自由学園を視察しました。

今年は桜の開花が少し遅かったように、他の枝物も通年と季節がずれてきたりして地球温暖化などの影響で季節がどうなっていくのだろうと思ったりするこの頃です。

4月に入って入学式などが終わると、花屋さんには母の日の準備にかかります。

厳密にはもともと前から準備は進めているのですが、4月に入ると仕入れ予約や資材の調達など細々としたことで現実味が帯びてきます。

近年は花以外のものを贈る人が多くなってきましたが、やはりカーネーションは欠かせません。



花だより③⑤

母の日に向けて多彩なカーネーションはいかが



立川まり

カーネーションは一輪咲のスタンダード、複数輪つけたスプレータイプとあります。

スタンダードのものは花が大きくとても見映えがします。品種改良もされ、花色、咲き方など本当に多くの種類があり、楽しませてくれます。カーネーション農家も母の日に合わせてたくさんのお花を出品してきます。私のところでもカーネーションを使った花束など予約を承っています。色などは【可愛い】【大人っぽくシック】などイメージでおまかせとなります。

街のお花屋さんで購入される場合は特定の品種がどうしても、というわけなければイメージで予約するか当日あるものから好きなものを選んでいただくのがいいかと思います。

カーネーションはとも花持ちが良いのですが20度を超える暖かい日になると水がバクテリアで汚れてくるのでコマめに水替え、その際は茎を下から2〜3cmずつ切るといいでしょう。延命剤など入れると栄養もあるので色のある蕾は咲いてくるかと思えます。

長くお楽しみいただけると思いますので、様々なカーネーションをこの機会にぜひ！

当店では全国への配送を承っておりますのでよろしければご連絡ください。

(フローラルライフ) 立川まり
042-423-8646

おしらせ



《南部地域センター》

※各イベント問合せは南部地域センター（指定管理者（株）セイウン） ☎ 042-451-2021
Mail Higashikurume_nanbu@s-seiun.co.jp

★なんぶ朝市開店
第1日曜日に開催します。
・5月5日（日）・6月2日（日）
10:00～人気絶頂、直ぐに売り切れ、早めにどうぞ！
・南部地域センターピロティ
・内容 新鮮な地場野菜、おにぎりとお稲荷さんセット
・主催：ボランティアグループなんぶ朝市

★[ヨガ教室関係①～④]

①「ヨガ男塾！」
頑張っているお父さん、デスクワーカーの悩み「首・肩こり腰痛」を解消しよう！
・4月12日（金）・4月19日（金）・5月10日（金）・5月17日（金）・5月31日（金）
・6月7日（金）19:00～20:00
・参加費：700円（当日払い）
・持ち物等 動きやすい服装・首にかけられる長さのタオル・飲み物・ヨガマット等
・講師：ヨガインストラクター、健康運動指導士中村陽子

②「ヨガ&体操」

・4月21日（日）・5月19日（日）・6月2日（日）
・参加費、持ち物、講師については上記①と同一
〈女性のためのヨガ①〉
10:00～11:00 定員11名
〈心弾むリフレッシュ体操〉
11:30～12:30 定員10名
〈女性のためのヨガ②〉
13:00～14:00 定員11名

③「美ヨガ」
楽しくアンチエイジング！
・4月14日（日）・4月28日（日）・5月12日（日）・5月26日（日）・6月9日（日）
・1部10:00～2部11:30～
・参加費：700円（当日払い）
・講師：ヨガインストラクター AZUSA

④「シニアヨガ」
・5月10日（金）・5月24日（金）10:00～11:00・対象：65歳以上男性も大歓迎・参加費、講師については上記③と同一

[ヨガ教室以外のイベント]

★「妊婦さんとママのための～ここからからだのセルフケアレッスン～」4月22日（月）・5月27日（月）10:00～11:30・参加費：500円・講師：ひばり maman
・対象：妊娠中の不安な気持ちや育育の悩みを共有したい方。マタニティライフをナチュラルなケアで過ごしたい方

★「60歳からの音楽で脳トレ体操」4月22日（月）・5月27日（月）10:15～11:30
参加費 1000円（当日払）

★「なんぶ おしゃべりサロン」5月5日（日）・6月2日（日） 13:30～15:30

参加費 100円

★「ひばりんフェスタ」ゴールデンウィークの最終日、家族みんなで楽しめる1日を！・5月7日（日）10:00～16:00 リラクゼーション、ワークショップ、ピロティフェスタなどなど

★「ベビーマッサージ」5月13日（月）・6月10日（月）10:00～12:00 参加費 2000円
講師：飯岡祐子・生後2か月～1歳前後の赤ちゃん和妈妈さん・妊婦さん

★「バクさんとその仲間と♪音楽と」5月19日（日）開場 13:15 開演 13:30～定員 60名・参加費 500円

★ひばりが丘音楽会特別企画「深掘りクラシック」ピアノコンサート 6月9日（日）午後2時開演・入場料：800円
・出演：ピアノ演奏 工藤健介
・曲目：ラフマニノフ「絵画的練習曲集」
・併設：猪狩加恵作品展示
キャンドル「自然の恵みを込めて」

《自由学園》

※イベントの問い合わせ先は自由学園広報本部 TEL042-428-2123
e-mail:kh@jiyu.ac.jp
URL:https://www.jiyu.ac.jp
詳細・申込みは学園HPからお願い致します。

■公開イベント 自由学園創立100周年記念 池上彰氏講演会 テーマ：学び続ける力 6月22日（土）14:00～15:30 自由学園記念講堂 入場料：3500円
お問合せ先：100周年募金事

事務局 TEL042-428-4232
e-mail:100bokin@jiyu.ac.jp

■U12 広場 5月18日（土）10:00～14:00 自由学園のキャンパスを使って、ご家族でのんびりお過ごしください。昔遊びなども企画しております。

■自由学園幼児生活団幼稚園園庭開放 5月30日（木）10:00～11:00 6月13日（木）10:00～11:00 6月18日（火）10:00～11:00 6月24日（月）10:00～11:00

■自由学園初等部学校説明会（入試結果報告会）
4月20日（土）午後

■自由学園初等部児童とつくる学校説明会
5月11日（土）9:30～11:30
【全体説明・校内見学・個別相談】

■自由学園初等部学校見学日（運動会）
6月1日（土）9:30～11:30

■自由学園中等部・高等部学校説明会
4月20日（土）15:00～17:30
5月18日（土）15:00～17:30 中等部・高等部入学希望の方へ学校説明会を行います。
対象：小学4年生～中学3年生

